

令和6年8月26日(月)

令和6年9月10日(火)

サンビレッジ国際医療福祉専門学校 作業療法学科 2年生が 施設実習に来ました。

令和6年8月26日(月)と令和6年9月10日(火)の2日間、サンビレッジ国際医療福祉専門学校 作業療法学科2年生14名が施設実習に来ました。はじめは緊張した様子でしたが、子ども達と活動を共にする中で、いつしか緊張もほぐれ、充実した実習になったようです。

また、次のような感想をいただきました。

- ・否定するのではなく「〇〇してくれたら先生嬉しいよ」など工夫した声掛けをしていたことに気が付いた。
- ・ただ遊んでいるように見えるけど、その子に合った遊びをしているんだということに気付くことが改めてできた。
- ・子どもと関わる時に、子どもの意見を否定したり、意見を押し付けたりするのではなく、対象者に寄り添い、傾聴している姿を見て、子どものことを大切に思っているのだと伝わってきた。
- ・ただ遊んでいるだけでなく、そこに目的や目標があり、観察しながらどういった目的があるのかを予測してみることが今の自分に必要だなと思った。
- ・子どもが起こす行動には何か理由があることを学んだ。
- ・年少さんに関わった時、伝わりやすい言葉を考えるのが難しかった。先生は擬音をつかいつつ、子どもに言葉を伝えたり、質問をゆっくり話すことで、発声を促してあげていた。
- ・グループ活動を3回見学した。3回とも活動内容は同じだったが、子どもに合わせて説明の仕方ややり方を変えていたのですごく勉強になった。また、声のかけ方も違っていたので、子どもの特性や状況に合わせた声掛けを選択していることがわかった。

ご理解とご協力ありがとうございました。